

訪問看護ステーションにおける教育担当者の教育力チェックリスト

教育担当者氏名：

対象者氏名：

A:十分にできている

B:ほぼできている

C:あまりできていない

D:まだ全くできていない

項目カテゴリ	チェック項目	評価 (ABCD)	記録日	備考
I. 教育に対する姿勢	新人に対して誠実で温かく接している			
	新人の個性や背景を尊重して関わっている			
	新人の不安や悩みに寄り添っている			
II. 教育の計画性・準備	新人の特性に合わせた教育計画（達成目標・ステップ）を立てている			
	指導内容の優先順位を明確にしている			
	訪問前後の振り返りの時間を意識的に確保している			
III. 指導の技術	観察や実地指導を通して学びを引き出している			
	具体例や経験を交えて説明している			
	肯定的なフィードバックと改善の助言を行っている			
IV. 評価と振り返り	新人の成長や課題を客観的に把握している			
	振り返りの場を設け、成長をともに確認している			
	新人の記録・行動に対する評価を適切に伝えている			
V. チームでの支援・連携	他スタッフと情報共有し、指導の一貫性を保っている			
	指導内容に対するチーム全体でのフォロー体制がある			
	教育状況をカンファレンス等で共有している			

新任訪問看護師氏名：

(新卒・既卒)

施設名：

項目カテゴリ	チェック項目	自己評価 (ABC)	指導者評価指導内容	指導日	指導者
I. 訪問看護の基本理解	訪問看護の目的・理念を説明できる				
	ステーションの運営方針・対象疾患を理解している				
	個人情報・プライバシーの保護を理解し実践している				
II. 業務の流れと記録の実施	出勤から退勤までの1日の業務の流れを理解している				
	訪問前の情報収集（カルテ・指示書・報告書など）ができる				
	訪問記録を正しく記入できる				
	報告・連絡・相談を適切に行っている				
III. 訪問時のマナー・コミュニケーション	あいさつ、自己紹介、説明などができている				
	訪問先の状況にあった社会人としての基本的ふるまい・マナーができている				
	患者・家族との信頼関係を築く対応ができている（時間・約束を守るなど）				
	状況に応じた傾聴・共感・対応ができている				
IV. アセスメントと看護実践	正確なバイタルサイン測定・異常の早期発見ができる				
	全身状態・生活状況のアセスメントができる				
	利用者に起こりうる変化・急変の予測をすることができ、対応を考えることができる				
	日常生活援助（清潔、排泄、食事など）が安全に行える				
	医療処置（点滴、ストマ、褥瘡ケアなど）の手技が適切				
V. 安全管理・緊急対応	感染対策・手指衛生が正しく行えている				
	移動・移乗など転倒防止への配慮ができている				
	緊急時の対応手順を理解し、指示を仰げる				
	利用者個々の緊急時の対応の準備についてあらかじめ把握している				

項目カテゴリ	チェック項目	自己評価（ABC）	指導者評価指導内容	指導日	指導者
VI. 多職種・チーム連携	ケアマネジャーとの連携の重要性を理解している				
	主治医に対してタイムリーかつ適切な報告をすることができ、必要な指示をえることができる				
	関連機関・外部機関との連携ができる				
	他職種から、利用者に関する必要な情報の交換・共有ができる				
	カンファレンスでの報告・意見表明ができる				
	記録・情報共有の仕組みに参加できている				
VII. 振り返り・自己学習	自己の課題を客観的にとらえ、達成すべき目標を立てることができる				
	目標に対して、段階的に達成するための具体的な行動計画を立てることができる				
	訪問後に自己評価・振り返りができる				
	学習テーマを設定し、継続的な学びに取り組んでいる				
	指導を素直に受け止め、改善に取り組む姿勢がある				